

ii!! TAC. 通信

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

【 JA版・第813号 】

本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課提供 令和8年2月25日 更新

次回は令和8年3月11日(水)配信予定です

★各欄の《下線部分》をクリックしていただきますと、記事内容が表示されます★

☆TAC!! 公式アカウント 友達募集中☆

TAC公式LINEアカウントではTACの皆様が日々担い手に訪問する際に話のネタになる情報や営農技術関係の情報などを配信しています。

ぜひご登録ください!

■登録は右のQRコードからお願いいたします■



お知らせ

■群馬県本部「JA甘楽富岡管理職（営農センター長）向け研修会」を開催（2/12）NEW

全農群馬県本部生産資材部担い手推進課は2月12日、JA甘楽富岡営農部会議室において「JA甘楽富岡管理職（営農センター長）向け研修会」を開催しました。今回の研修会は、管理職（センター長）及び営農担当者を対象とし、営農指導事業全般について研修を行いました。当日は管理職（営農センター長）及び営農担当者計15名が参加しました。

研修会では、全中・担い手支援部高橋講師より管理職向け研修として「JAの営農指導の現状と課題」と題した講義を受講しました。

研修会終了後参加者全員に各人の目的と目標を一人ずつ発表してもらい、令和8年度に向けての決意を表明してもらいました。



【研修会の受講風景】

■JA埼玉県担い手サポートセンター「令和7年度第9回JA営農担当者研修会」開催（2/12）NEW

JA埼玉県担い手サポートセンターは関係機関と協力し、栽培技術及び施肥防除・品目知識・流通等に関する年間を通じた体系的研修会を開催しています（年間10回コース）。

第9回研修会は、2月12日に鴻巣市の埼玉県種苗センターにて、午前に作物コース「米の食味と評価方法」（14名参加）、午後に野菜コース「野菜の流通と販売戦略」（22名参加）を開催しました。後段では、埼玉県農林部生産振興課の担当者より、「埼玉野菜の現状と県の生産振興策について」と題し、県の補助事業・埼玉県オリジナルのさとも・いちごの説明を受けました。

今回の研修を通じ、現場で指導にあたるTACや営農指導員の技術習得と生産現場での指導に期待したい。



【作物コース（米の食味官能試験風景）】

■JA埼玉県担い手サポートセンター「令和7年度TACパワーアップ埼玉県大会」開催（2/6）

JA埼玉県担い手サポートセンターは2月6日、さいたま市で「令和7年度TACパワーアップ埼玉県大会」を開催し、TACやJA関係者約170名が参加しました。大会は県内TACの情報共有と相互研鑽、表彰による意欲向上を目的とし、今回で16回目です。県知事賞の白石TAC（JA埼玉みずほ）は、スマート農業を活用したイネカメムシ防除の事例として、広域空中散布により被害軽減と所得向上を実現したと報告しました。優秀賞はJAさいたまほか3JAが受賞しました。基調講演では全農耕種総合対策部よりTACの出向く活動強化と優良事例が紹介されました。受賞TACは、「訪問活動で担い手のニーズに合った提案力を向上させ、信頼されるTACを目指したい」と抱負を語りました。



【前列：受賞者 後列：主催者】

■**兵庫県・兵庫県本部が共催「兵庫県直播栽培研修会」開催（2／3）NEW**

兵庫県と兵庫県本部は2月3日に、省力化や担い手不足に対応する技術として期待される水稻直播栽培の普及に向け、約150名の生産者や関係者を集めて直播栽培研修会を開催しました。

研修会では、兵庫県農林水産総合技術センターから湛水直播・乾田直播の特徴や導入ポイント、注意点について説明があり、丹波農業改良普及センターからドローン湛水直播における3種類のコーティング種子を用いた実証試験結果や、新技術「リゾケアXL」を活用した湛水直播技術の説明が行われました。また、メーカー・兵庫県本部による展示や相談ブースも設けられ個別の相談に対応しました。

参加した生産者からは「最新の情報が盛りだくさんで大変勉強になった」「今後は現地研修会にも参加したい」といった声が多く寄せられました。

直播率が約1%と低い兵庫県で、関係機関が連携した本研修会は初の取り組みであり、情報共有と意見交換ができる場となりました。今後の技術普及と地域農業の活性化に努めます。



【研修会の様子】

■**群馬県本部「JA邑楽館林にて窓口職員向け肥料勉強会」を開催（1／20）NEW**

群馬県本部生産資材部担い手推進課は1月20日、JA邑楽館林北部営農センターにて、窓口職員を対象とした肥料勉強会を開催しました。今回で3回目となる本勉強会には7名が参加し、管内で作付けの多い「きゅうり」や「イチゴ」で使用可能な液肥資材を中心に、資材の特徴や使用方法、実際の活用事例について学びました。

勉強会では商品説明だけでなく、職員同士の意見交換も行われ、参加者からは「使い方のポイントや使用前後の効果差がよく分かった」「学んだ内容を生産者へ伝えたい」といった前向きな声が寄せられました。今回の取り組みにより、窓口対応力の向上と生産者支援の強化が期待されています。



【研修会の受講風景】

■**本所施設園芸企画課からお知らせ NEW**

【トレーニングセンター幸手 研修者三次募集中！】

本所施設園芸企画課では、令和8年に埼玉県幸手市に設置する「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」（埼玉県幸手市）にて、第一期研修者の三次募集中です！

栽培品目	トマト・ナス・キュウリ
研修期間	令和8年10月～令和10年9月（原則2年間・応相談）
研修費用	無料
雇用契約	本会の臨時職員として雇用（更新期間の定め・更新上限あり）
賃 金	時給1,141円（令和7年11月現在。埼玉県の最低賃金に準ずる）
就業時間	8：30～17：00（繰り上げ・繰り下げあり）
応募資格	① 普通自動車運転免許必須（AT限定可） ② 入会時に住民票がある地域のJA組合員になる方 ③ 10年以上営農を継続できる方 ④ 性別、農業経験の有無は不問
応募方法	① 「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」研修（求職）申込書 ② 履歴書 上記2点をHPよりダウンロードいただき、事務局へメール送付ください。

応募期限	令和8年3月31日（必着）
------	---------------

より詳細な情報については、HPに掲載の研修者募集要領をご覧ください。

[HPはこちら]⇒⇒ [\(ゆめファーム全農 トレーニングセンター幸手の紹介 | JA全農\)](#)

【オープンデー（施設見学会）開催！】

好評につき「ゆめファーム全農オープンデー（施設見学会）」を開催中です！

費用無料（交通費自己負担）で、どなたでもご参加いただけます。

新規就農にご興味のある方、トレーニングセンターでの研修にご興味のある方、是非お気軽にお申し込みください！

日 程	時 間	開催場所
2026年3月7日(土)	10:00~11:30	ゆめファーム全農 SAGA（佐賀県佐賀市・キュウリ）
2026年3月14日(土)	10:00~11:30	ゆめファーム全農とちぎ（栃木県栃木市・トマト）

■農林水産省「先進的有機農業拡大促進事業」についてご案内 NEW

農林水産省の令和8年度当初予算及び令和7年度補正予算事業において、有機農業関係では、「有機農業拠点創出・拡大加速化事業（オーガニックビレッジの創出等）」、「有機転換推進事業」を引き続き実施することに加え、今回は「先進的有機農業拡大促進事業」を新設しましたので、情報共有いたします。

本事業では、有機農業の更なる面的拡大を促進するため、スマート農業技術等の導入による地域の実情に応じた生産性向上や、有機農産物の保管や加工のための設備導入等を通じた販路の確保に取り組む農業者等を支援するとともに、当該農業者等を含む地域一体の取組を支援します。

農業者に加え、JA、加工・流通事業者など幅広い方々にも取り組んでいただける事業となっております。ぜひご活用についてご検討をお願いいたします。

【有機農業関連事業の概要】

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/hozen_type/attach/pdf/index-61.pdf

【「先進的有機農業拡大促進事業」パンフレット】

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/attach/pdf/index-167.pdf>



■AFJ日本農業経営大学校オンラインスクール「経営マスターコース「経営戦略」」のご案内 NEW

AFJ日本農業経営大学校オンラインスクールは、2026年4月30日（木）～7月29日（水）の日程で、経営マスターコース「経営戦略」を開催いたします。

農業経営に不可欠な戦略的思考を磨く、経営者・幹部層およびその候補者向けのオンライン講座です。激変する環境下で適切な経営判断を下すための柔軟性や応用力を、ビジネススクールや農業界に特化した本校オリジナルケースをもとに学習を行います。環境分析から成長戦略まで、基礎的なフレームワークに加え、同じ課題を持つ全国の農業者とのディスカッション、そして自社の経営課題発見と講師によるフィードバックなど、基礎から学び、経営で活用できる思考力を身に付ける、全6回の実践型カリキュラムです。

講座の詳細やPVは本校HPでご確認いただけます。<https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/strategy/>



■山形県本部「担い手営農サポートシステムの説明会」を開催（12/26）

山形県本部 営農企画部営農支援課は、12月26日（金）にJAさがえ西村山で担い手営農サポートシステム（以下NEサポシステム）の説明会を開催しました。説明会ではJA全農の担当者と営農支援課職員が講師として、NEサポシステムの概要や主な機能の紹介を実施しました。その後、JA職員の方にデモ機を使用して実際に担い手情報や面談記録の登録・作成を行っていただきました。山形県本部では今後もJAのTAC活動・出向く活動について、積極的にサポートしてまいります。



【研修会の様子】

■本所施設園芸企画課からお知らせ

【トレーニングセンター幸手 研修者三次募集開始】

本所 施設園芸企画課では、令和8年に埼玉県幸手市に設置する「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」（埼玉県幸手市）にて、第一期研修者の三次募集を開始いたします。

栽培品目	トマト・ナス・キュウリ
研修期間	令和8年10月～令和10年9月（原則2年間・応相談）
研修費用	無料
雇用契約	本会の臨時職員として雇用（更新期間の定め・更新上限あり）
賃 金	時給 1,141 円（令和7年11月現在。埼玉県の最低賃金に準ずる）
就業時間	8：30～17：00（繰り上げ・繰り下げあり）
応募資格	⑤ 普通自動車運転免許必須（AT 限定可） ⑥ 入会時に住民票がある地域の JA 組合員になる方 ⑦ 10年以上営農を継続できる方 ⑧ 性別、農業経験の有無は不問
応募方法	③ 「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」研修（求職）申込書 ④ 履歴書 上記2点を HP よりダウンロードいただき、事務局へメール送付ください。
応募期限	令和8年3月31日（必着）

より詳細な情報については、HPに掲載の研修者募集要領をご覧ください。

[HPはこちら]⇒⇒ [\(ゆめファーム全農 トレーニングセンター幸手の紹介 | JA全農\)](#)

【WEB個別説明会 随時開催中！】

下記URLよりお気軽にお申し込みください。

[個別説明会申込はこちら]⇒⇒<https://forms.office.com/r/yDVfGbDY2y>

【新・農業人フェア2025 出展！】

日 時：2026/2/11（水・祝） 10：00～16：00

場 所：東京都（東京交通会館ダイヤモンドホール）

今回は雇用就農に特化したイベントです。農業にご興味がある方、トレーニングセンターの研修にご興味がある方、ぜひお待ちしております

[HPはこちら]⇒⇒<https://agri.mynavi.jp/shin-nogyojin/>

今後も都度HPやTAC通信・TACLINE等を用いてこまめに発信していきますので、引き続きよろしく願いいたします！

経営・労務相談

■担い手対応の経営相談

担い手を対象として経営に関する相談を行っています。経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、以下の相談票に記入の上、本所TAC・営農支援課まで送付ください。

※無料ですので、積極的にご利用ください。

経営・税務相談票は[こちら](#)

■担い手の労務管理情報を配信します！

農業分野の労務課題について情報を配信します。1/14 配信号から隔月連載しています。社会保険や雇用制度など、労働環境整備のための情報をお届けします。

◆記事はこちらから [Click here](#)

◇今後の配信スケジュール

TAC通信（奇数月第2水曜日掲載）／TAC LINE（奇数月第3月曜日配信）

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_18（TAC広報・情報誌）にも格納します。

■農業経営支援に関する役立つ情報を配信します！NEW

農業経営支援に関する役立つ情報をTAC通信、TAC LINEで配信をしていきます！
実際に合った事例や、過去の対応・決算データ等を基に現場のTACに分かりやすい形でお届けします。

◆記事はこちらから [Click here](#)

◇今後の配信スケジュール

TAC通信（毎月第4水曜日掲載）／TAC LINE（毎月末配信）

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_17（新規就農・事業承継・税務相談）にも格納します。

配信月 | テーマ

○ 節税のポイント！を全5回シリーズで解説！

5月 農地の取得・保有・譲渡編

6月 設備投資編（スマート農業、環境負荷軽減）

7月 青色申告編-①

8月 青色申告編-②

9月 法人化編

○ 事業承継支援に向けた担い手の経営税務に係る
チェックポイントを全5回シリーズで解説！

10月 集落営農法人の事業承継

11月 個人親子間

12月 法人親子間

1月 個人第三者承継

2月 法人第三者承継

○ これだけはおさえておきたい！インボイスを解説！

3月 経過措置への対応策について

◆アンケートはこちらから！

農業経営支援に関する上記の記事の感想、今後取り扱ってほしいテーマなど皆さんのお声を気軽にお聞かせください！

技術情報

■農研機構 技術情報 NEW

今週はふたつの研修成果をご紹介します。

1. [寒冷地の水稲乾田直播栽培における日射から見た目標籾数と出穂晩限日](#)

[（農研機構HPへリンク）](#)

乾田直播水稲の日射量による収量の制限に関する解析結果の応用により、栽培地の日射量や目標収量などに合わせた目標籾数を推定できる。今まで検討されていなかった日射量からみたイネの出穂晩限日を推定できることから、乾田直播栽培の適地選定、栽培品種選定への貢献が期待される。

2. [ドローンによるスクミリンゴガイ被害予測に基づく省力的な防除システムを開発](#)

[（農研機構HPへリンク）](#)

農研機構は、スクミリンゴガイによる水稲被害の発生予測マップを自動作成し、そのマップに基づいて薬剤をスポット散布できるドローン防除システムを開発しました。スクミリンゴガイは、主に九州から関東までの広範囲に生息しており、水稲の初期生育期に水深が深いエリアで食害が発生しやすくなります。本成果により、食害が予測されるエリアのみに薬剤を散布することで、田植え後の農繁期において省力的かつ効率的にスクミリンゴガイの被害を軽減できます。みどりの食料システム戦略が掲げる2030年目標のうち化学農薬使用量（リスク換算）の10%低減にも貢献します。

※農研機構プレスリリース・普及成果情報は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC広報・情報誌）にリンクを貼付しています。

（出典：農研機構HP 普及成果、研究成果より）

～全農は、農業現場が抱える課題の解決に向けて、農研機構と連携し、新技術・新品種の産地提案や実証試験を通じた普及推進に取り組んでいます～

■農業研究室 技術情報 NEW

今週はふたつの農業技術情報をご紹介します。

1. [薬剤抵抗性イヌホタルイとその防除について](#) [（アピネス/アグリインフォHPへリンク）](#)

ひとつめは、「薬剤抵抗性イヌホタルイとその防除」について紹介します！

イヌホタルイの薬剤抵抗性について理解を深め、適切に防除しましょう！

2. 抵抗性（耐性）とローテーション防除について （アピネス／アグリインフォHPへリンク）

ふたつめは、「抵抗性（耐性）とローテーション防除」についてご紹介します！

抵抗性は農薬を使用する上で切り離すことができない問題です。ローテーション防除を行い、抵抗性の発達を防ぎましょう！

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」04_（農薬）にも格納します。

（出典：アピネス／アグリインフォHP 営農情報より）

農業労働力支援

■全農本所TAC・営農支援課 「全国労働力支援協議会」の開催

本所TAC・営農支援課では、全国6ブロックに設置したブロック別労働力支援協議会での協議を踏まえ、農業労働力支援を通じた地方創生・地域活性化を目指す「全国労働力支援協議会」を令和4年3月に設立し、設立以降毎年開催しております。

6ブロックの協議会（北海道、東北、関東甲信越、北陸東海近畿、中国四国、九州）と、全中、全共連、農林中金、全農およびパートナー企業を構成団体とし、オブザーバーとして農水省他関連省庁や関係企業等にも参加いただいています。

今後、本所TAC・営農支援課は協議会を通じて、①農業への多様な人材の活用促進、②農業以外の他産業との連携促進、③後継者誘導しやすい環境づくりの促進を目指し、農業だけでなく地方が抱える課題の共有と解決に向けた取り組みを進めます。

■全農本所TAC・営農支援課 「91農業」の提唱

本所TAC・営農支援課は、様々な方々に農業参加を促す新たなライフスタイル「91農業」を提唱しております。

他産業・一般の方々に向けて、①農業へのハードルを下げて農業参加を訴求すること、②パートナー企業連携による農作業請負の取り組みを広く周知すること、等を目的として「あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れませんか？」をコンセプトに、少しでも多くの方が農業に関われるような環境を目指して全国労働力支援協議会とも連携しポスターやHP等でPR活動を進めています。



- 9本業1農業：休みの日に1日農業、新しい副業の形
- 9育児1農業：子育てしながら一時期に農業、新しいバートの形
- 9旅行1農業：旅行の1日に農業、新しい旅行の形
- 9夢追1農業：夢を追いながら一時期に農業、新しいバートの形
- 9自宅1農業：家以外に居場所が一つ増える、新しい就労支援の形



事業承継

■全農本所TAC・営農支援課 「事業承継支援 虎の巻」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるTACの技を収集し、全国のTACの皆様様に「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」を発信しています。

あなたの「技」を全国のTACへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域TAC部署を通じて本所TAC営農支援課にご連絡ください！

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。ご活用ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では訪問チラシ「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」を作成しています。Z-GISの推進および事業承継の啓発の際にご活用ください。[こちら](#)からご確認ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」のご案内

全農本所TAC・営農支援課ではJA全国担い手サポートセンターと連携し、JA等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しています。

ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

手引きは、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■全農本所TAC・営農支援課 事業承継啓発チラシ親子別Ver.のご案内

全農本所TAC・営農支援課は、事業承継啓発に係るツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しています。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一步目のツールとして使いやすいつもとなっていますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

本所TAC・営農支援課は「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック部会版）を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いいたします。

全農 HPは[こちら](#)

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

本所TAC・営農支援課では各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック集落営農版）を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いいたします。

全農HPは[こちら](#)

Z-GIS



👏！！Z-GIS の動画のご紹介！！

全農本所スマート農業推進課が、新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者のへの導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。

Z-GISスタートアップガイドは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビューは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■本所スマート農業推進課 ～スマート農業の先進事例を見てみよう！～「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行（ご案内）

本所スマート農業推進課では、Z-GIS・ザルビオの利用促進、さらなる普及拡大を目的に、令和元年度のZ-GIS導入ガイドから始まり、令和4年度は「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行しました。

各システムのユーザーである全国の生産者、JAにインタビューを実施し、計8事例掲載しております。また、ガイドの冒頭2ページに、Z-GIS・ザルビオを導入いただいたユーザーのスタートアップを支援するため、利用登録から圃場・作付登録までの手順を掲載しております。

冊子をご要望の方は、本所各営農資材事業所、本所スマート農業推進課までご連絡ください。また、Z-GISホームページや担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）でもPDF版を公開しております。

活用ガイド2023/2024は[こちらから](#)ご覧いただけます。

人材育成（TACアグリビジネススクール、他各種研修資料等）

■全農本所TAC・営農支援課 令和7年度TACアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内

令和7年度のTACアグリビジネススクールについて、日程が決定いたしましたので下記の通りご案内いたします。

※第8～10回で開催時間の変更がありましたので、ご確認ください！ 2025/7/9 更新

回	日程	時間	テーマ
1	6/3（火）	10:00～15:00	農業を取り巻く情勢・取り組み
2	7/9（水）	10:00～15:00	生産資材・技術情報①
3	8/5（火）	10:00～15:00	農業労働力支援・相続・事業承継
4	9/3（水）	10:00～15:00	農業現場における労務管理・会計基礎
5	10/8（水）	10:00～15:00	会計・税務研修①
6	11/5（水）	10:00～15:00	会計・税務研修②
7	12/3（水）	10:00～15:00	会計・税務研修③

8	1 / 7 (水)	10:00 ~ 15:00	総合事業連携の取り組み
9	2 / 4 (水)	10:00 ~ 15:00	生産資材・技術情報②
10	3 / 4 (水)	10:00 ~ 15:00	販売強化の取り組み

※日程やテーマは会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■全農本所TAC・営農支援課 TACアグリビジネススクール収録動画の格納について（ご案内）

本所TAC・営農支援課は開催した「TACアグリビジネススクール」の講義内容の動画をYouTubeに限定公開しています。

動画URL・講義資料は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）にも格納済みです。

■「TACの手引き」、「TAC担い手訪問ハンドブック」

TACの意義や導入目的、取組の進め方など、TACの導入から運用に至るまでを網羅する「TACの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「TAC担い手訪問ハンドブック」について担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）に掲載しました。ご活用ください。

貸出資材

■全国共通資材の貸出

○のぼり、ハッピー、テーブルクロス

貸出申請書は、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC 広報・情報誌）22_（店舗・イベント）に格納されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

○タペストリー

本所TAC・営農支援課は「TACパワーアップ大会2025」の開催にあわせ、TACタペストリー一覧を更新しました。イベント時などにご使用ください。

なお、使用時は「TACタペストリー貸出しマニュアル」のご一読をお願いします

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」12_（パワーアップ大会・営農指導員大会）にも投稿します。

担い手営農サポートシステム関連情報

■担い手営農サポートシステムの利用申請について

利用申請（新規、再登録、削除）については、Web上で実施していただきます。

（URL：<https://zennoh.my.site.com/entry>）

以下登録の手順をお知らせいたします。

- ①上記URLを開き、必要事項を入力
- ②入力内容を確認し、利用規約に同意する
- ③入力した内容が記載されたPDFがダウンロードされる
- ④申請情報で入力したアドレス宛に申し込み完了メールが送信され、PDFアップロードリンクが記載されている
- ⑤ダウンロードされた担い手サポート管理システム申請書PDFを印刷し、「情報機器管理者」「管理者」「担当者」欄に押印する
- ⑥PDFアップロードリンクに押印したPDFをスキャンしてアップロードして完了
- ⑦ヘルプデスクが入力内容を確認し、問題なければ、アカウント発行処理が実施される

詳細は担い手営農サポートシステムのナレッジに格納しております。

（ナレッジURL：https://zennoh.lightning.force.com/lightning/r/Knowledge_kav/ka02x000000WRyxAAG/view）

※ナレッジは担い手営農サポートシステムユーザーのみ閲覧可能です。

■ヘルプデスク連絡先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクスクエア新宿9階

株式会社 全農ビジネスサポート

担い手営農サポートシステムヘルプデスク

TEL：03-3350-1157

ランキング集計

【 1月 】 月間ランキング

JA別-面談記録登録状況

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2026/01/01 ~ 2026/01/31)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA兵庫西	4,461	1	4461.0
2	JAレーク滋賀	2,132	64	33.3
3	JA仙台	1,363	37	36.8
4	JA金沢市	1,285	26	49.4
5	JAむなかた	1,174	12	97.8
6	JAさいたま	1,107	15	73.8
7	JA南彩	1,055	11	95.9
8	JA岡山	1,014	32	31.7
9	JA常総ひかり	952	15	63.5
10	JAフルーツ山梨	874	25	35.0

(訪問期間:2026/01/01 ~ 2026/01/31)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA兵庫西	4,461	1	4461.0
2	JA粕屋	301	2	150.5
3	JAよこすか葉山	829	6	138.2
4	JAなす南	477	4	119.3
5	JA足利	222	2	111.0
6	JAあさか野	646	6	107.7
7	JA福岡大城	101	1	101.0
8	JAむなかた	1,174	12	97.8
9	JA南彩	1,055	11	95.9
10	JAさいかつ	429	5	85.8

★担い手営農サポートシステムの面談記録数(業務種別:担い手対応)を集計

★2月24日登録までの集計

【 1月26日 ~ 2月22日 】 週間ランキング集計

JA別-面談記録登録状況

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2026/01/26 ~ 2026/02/22)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	1,853	64	29.0
2	JA仙台	1,476	37	39.9
3	JA新潟かがやき	1,078	93	11.6
4	JAむなかた	1,067	12	88.9
5	JA兵庫西	994	2	497.0
6	JA金沢市	937	26	36.0
7	JAフルーツ山梨	868	25	34.7
8	JAよこすか葉山	827	6	137.8
9	JAえひめ未来	713	19	37.5
10	JA常総ひかり	703	15	46.9

(訪問期間:2026/01/26 ~ 2026/02/22)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA兵庫西	994	2	497.0
2	JA粕屋	325	2	162.5
3	JAよこすか葉山	827	6	137.8
4	JA福岡大城	106	1	106.0
5	JAなす南	474	5	94.8
6	JAあさか野	541	6	90.2
7	JA足利	178	2	89.0
8	JAむなかた	1,067	12	88.9
9	JAさいかつ	355	4	88.8
10	JAあきた北	523	6	87.2

★担い手営農サポートシステムの面談記録数(業務種別:担い手対応)を集計

★2月24日登録までの集計

最近のメディア

○スマート農業情報

[Z-GISのアップデート情報\(積算気温抽出機能\)](#)

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_ (スマート農業・ICT) に格納

○グリーンレポート2月号 NEW

[JAと連携した農業普及活動～日本一をめざしたユウカリ産地の振興～](#)[インフォメーション～「ゆめファーム全農構想」の紹介～](#)[インフォメーション～共乾施設での省力化を支える「乾燥機遠隔監視サポートシステム」～](#)[スマート農業推進の取り組み～営農管理システム「Z-GIS」の新機能とキャンペーンのご紹介～](#)

○経営実務11・12月号

いまこそTACだ!! 島根県 JAしまね 菊地雅也氏

いまこそTACだ!! 岡山県 JA岡山 池内伸治氏

○地上3月号 NEW

※「地上」の公式HPは[こちら](#)から。

○全農ウィークリー

[2026年2月23日 \(vol.1138\) NEW](#)

※TAC活動の紹介等で転載する場合は申請不要です。

○AGRI FUTURE

[No. 110 \(JAわかやま\) 発行\(6/25\)](#)

◆生産者の声:新しょうが/すもも/南高梅(なんこううめ)

- ◆クローズアップ：新しょうがレシピ
- ◆地域百景：日本一の梅ブランド／和歌山県の「すもも」
- フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付 HPは[こちら](#)

○全農HP

- ◎緩効性肥料におけるプラスチック被膜殻の海洋流出防止に向けた取組状況について [NEW](#)
- ◎J A全農×(株)KRフードサービス共同企画「かごの屋」全店で「熊本県産うべに苺フェア」開催 [NEW](#)
- ◎J A全農がカーリングジュニア日本代表を「ニッポンの食」でサポート「世界ジュニアカーリング選手権大会 2026」デンマークで開催 [NEW](#)

○農業協同組合新聞

- ◎将来を担う若手リーダー24人がレポートを発表 戦略型中核人材育成研修全国研究発表会 J A全中(1) [NEW](#)
- ◎将来を担う若手リーダー24人がレポートを発表 戦略型中核人材育成研修全国研究発表会 J A全中(2) [NEW](#)
- ◎春植えばれいしょ 高温と少雨で全国8%減 [NEW](#)
- ◎【第72回J A全国青年大会】星氏、坂本氏、両副会長が次期会長に立候補 [NEW](#)
- ◎【第72回J A全国青年大会】未来を創る種をまく J Aいみず野青年部の松本剛明さん 青年の主張 最優秀賞 [NEW](#)
- ◎【第72回J A全国青年大会】J Aたいせつ青年部が千石興太郎記念賞 [NEW](#)
- ◎J-クレジット「牛のげっぷ由来のメタンガスを減らす飼料添加物の使用」が追加 農水省 [NEW](#)
- ◎ユーザーに選ばれるスマート農業技術『農研機構技報』19号発刊 [NEW](#)
- ◎みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践(98) ナトリウムチャンネルモジュレーター【防除学習帖】第337回 [NEW](#)
- ◎農薬の正しい使い方(71) 脂肪酸・フラボノイド合成阻害剤【今さら聞けない営農情報】第337回 [NEW](#)
- ◎【J A全農 水稲直播栽培研究会】直播は水田農業の中核技術に 梅本雅氏(3) [NEW](#)
- ◎農林中金 経常・純損益とも黒字に転換 J A三井リース損失分は523億円 第3四半期 [NEW](#)
- ◎担い手コンサルコンペティション開く 優良5事例を表彰・発表 農林中金 [NEW](#)
- ◎環境DNAで特定外来生物アライグマを検出 新技術を開発 農研機構 [NEW](#)
- ◎【J A全青協 北川敏匡会長インタビュー】盟友の意思結集 青年の情熱社会に発信 [NEW](#)
- ◎最優秀賞にJ Aわかやま ありだ地域本部の伊藤大貴さん 第10回J A営農指導実践全国大会 [NEW](#)
- ◎長期貯蔵が可能 ポテトチップ用バレイショ新品種「しんせい」開発 農研機構 [NEW](#)
- ◎エチレングスを持続的に放出できる固体材料を開発 農産物の追熟・鮮度保持に期待 [NEW](#)
- ◎米の相対取引価格、3ヵ月連続で下がる 1月は3万5465円 契約数量は落ち込み [NEW](#)
- ◎米は白未熟粒増え、乳牛は乳量が減り、ミカン産地は大幅減 環境省が「気候変動影響評価報告書」 自給率向上の重要性示唆 [NEW](#)
- ◎農研機構とJ A Lグループが包括連携協定 イチゴ起点に世界へ発信 [NEW](#)
- ◎香港向け家きん由来製品 北海道ほか5県からの輸出再開 農水省 [NEW](#)
- ◎鳥インフル 英国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省 [NEW](#)
- ◎「鳥獣との闘い」から「過疎・人口減との闘い」へ 鳥獣被害対策で視座転換、専門家ら議論 [NEW](#)
- ◎みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践(97) J IRACの分類【防除学習帖】第336回 [NEW](#)
- ◎農薬の正しい使い方(70) アミノ酸合成阻害【今さら聞けない営農情報】第336回 [NEW](#)
- ◎【サステナ防除のすすめ】IPM防除の実践(病害編) 生態系、環境に配慮(1) 生物的防除とは [NEW](#)
- ◎【サステナ防除のすすめ】IPM防除の実践(病害編) 生態系、環境に配慮(2) 物理的防除法 [NEW](#)
- ◎サステナ防除のすすめ】IPM防除の実践(病害編) 生態系、環境に配慮(3) 耕種的防除法 [NEW](#)
- ◎米価高騰でも購入「堅調」 2025年 節約志向で安い米にシフト [NEW](#)
- ◎経常利益4.5%増 25年度上半期総合J A経営速報 全中 [NEW](#)
- ◎スーパーの米価、前週比で6円上がる 取引上流では下落も、小売価格は「高止まり」 [NEW](#)

◎病害虫発生情報

※ 本リンクは、インターネット上にある新聞や各種情報のうち、TAC・営農支援課が担い手に関係する内容を収集して作成しています。

全農本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課

TEL:03-6271-8276

FAX:03-5218-2535

mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp



[HP](#)

TAC・出向く活動パワーアップ大会 2025「大会宣言」

我々TACは、

- 一、担い手とともに、新たな技術と知恵で、持続可能な農業を創造します。
- 一、J Aグループの総合力を結集し、多様なニーズに応えます。
- 一、地域社会を守るため、「食」と「農」をつなぐ架け橋となります。

★第2・第4水曜を基本に定期配信します(水曜日が祝日の場合は休刊します)★

※お休み等で配信日が変更となることもございます。ご了承ください。